

型試合規約

1、審判基準 審判員及び審議委員は同等の権限をもって協議の審査に当たるが、協議に関する最終決定はすべて審判長の裁可による。旗判定は3名～5名の審判員がどちらか一方の旗を上げて行う。引き分けはない。審判員はそれぞれに異議を申し立て競技する権限を有する。

2、クラス(階級)・型 ※別紙参照

3、試合の方法 2～3名の審判員が評価基準に基づき採点を行う。
予選～準決勝まで予選型、決勝戦は決勝型を行う。
予選→単独、準決勝・決勝戦→2名同時に行う。

【選抜クラス】

- ①予選 基礎点→20点満点から減点方式、芸術点→加点方式による30点満点とする(合計50点満点)。基礎点と芸術点の合計点が高い順に順位をつける。同点の場合は、
①芸術点が高い選手
②「呼吸を使った気の流れ・気迫」が高い選手
(それでも同点の場合は)
③再試合
の順で勝者を決める。 ※入賞者対象者のみ
- ②準決勝 予選2位・3位の2名で(同時に)準決勝戦を行い、3人以上の審判の旗判定により決着する。
※4名以下の出場者の階級は、準決勝は行なわない。
※予選型のどちらを選択しても良い
- ③決勝 予選1位と準決勝の勝者、または予選2位が決勝指定型を同時に行い、3人以上の審判の旗判定により決着する

【初級・中級クラス】

- ①予選 予選は、50点満点の総合評価によって採点を行い、順位を決める。
- ②準決勝・③決勝 → 「選抜クラス」と同じ

4、着衣 選手は清潔な空手道衣を着用すること。袖、裾の折り返しを禁ずる。

5、評価基準 基礎点と芸術点により評価を行なう。

基準点(50点満点)	
基礎点(20点満点・減点方式)	芸術点(30点満点・加点方式)
ふれ・バランス (最大5点減点)	雄大性 (5点)
予備動作 (最大5点減点)	技の切れ・インパクト (5点)
正確性 (最大5点減点)	腰が入った連動性 (10点)
力み (最大5点減点)	呼吸を使った気の流れ・気迫 (10点)

- 6、失格 ①審判員の指示に従わず、悪質な試合態度とみなされた時。判定時の「雄叫び」「ガッツポーズ」等礼節を欠いた態度を取った場合、失格となることがあります。
②出場時刻に遅れたり、出場しない時。
③申告した型と異なる型を演技した時。演技を途中で中断した時。
※初級・中級クラスはこの限りではない

7、その他 ①道場・流派・会派による細部動作等の相違や気合の箇所の相違は評価基準の対象と致しません。
②判定に対する抗議は一切認めません。